

水産試験所---業務案内脚本

	内容	写真	時間
00a	青い星 ; 広大な海洋 ; 無数の水生生物 人類水産蛋白質の源 (26 文字)	クレジット ト メーカー	15
00b	当所は前台湾総督府水産試験場として民国 18 年に創立し、幾度かの改変を経て民国 89 年に行政院農業委員会に属しました。現在の本所は基隆にあり、行政部門以外に企画情報、海洋漁業、水産養殖、水産加工など 4 グループを設けています。 (108 文字)	10 枚 メーカー	27.3
00c	淡水繁養殖研究センター、海水繁養殖研究センター、沿近海資源研究センター、東港生技研究センター、東部海洋生物研究センター、澎湖海洋生物センターなど全国各地に 6 つの研究センターがあり、水試一号、海富、海建、海安など 4 隻の試験船を備え、水産生物原種庫や遺伝子組み換え水産生物隔離養殖場試験などの施設が設置されています。(156 文字)	14 枚 各関連部門	38.1
00d	各部門が互いに業務を分担し、積極的に海洋漁港、水産繁殖・養殖、水産加工など関連領域の開発をし、水産技術普及や情報サービスに従事しています。近年の主な成果は以下の通りです : (85 文字)	7 枚 各関連部門	20
	漁業資源管理及び保育調査研究方面 :		
01a	浮き魚資源の調査研究 マグロ類はわが国の重要な経済漁獲対象です。当所では積極的に黒マグロ、キハダマグロなどの漁獲努力量、漁獲量、体長、体重など生物学的なデータを収集し、深く研究分析し、データ評価や管理の根拠としています。(109 文字)	10 枚 漁業組	25.8